

ぐす～よ～ いい正月で～びる m (_) m

2月3日は旧正月でしたが、次回の外来予約を考える上で旧暦の年間行事を知っておくことは大切な基本常識!? です。2月18日（旧1月16日）も要注意です!! 最近のカレンダーには旧暦表記がないものが多く、“うちな～手帳”は必須アイテムになっています。そのお蔭か、何気ない会話や笑顔が増えた印象を持ちます。旧暦は侮れません！今年のム～チ～ビ～サは厳しいものでしたが、それを物語るかのようにインフルエンザが大流行!! 会員の皆様、きっと桜なんぞ鑑賞している余裕はないのかもしれませんが、診療の合間に“ピンク”の会報を手に取り目を通していただくと、広報委員としては嬉しい限りです。

今まさに、この編集後記を読まれている…あなた！手に取りまず広げたページが編集後記という方は少数派かもしれませんが、毎月の記事の内容が広報委員のコメントで簡潔にまとめられ、1冊の内容を把握するには好都合です。それを手がかりに、興味ある記事から読み進めることもできます。ですが今月号は趣向をかえ、会報の宣伝を行いたいと思います。

編集会議の最初の議題は「トピックス」の選定です。いわゆる今月号の目玉“注目記事”のことです。表紙を見てください。美浜の大観覧車（ブルーサークル）の下に簡条書きされています。ややお堅い内容が多いのですが、医学界・医療現場の趨勢を感じ取ることができます。担当理事の印象記も併せて読み進めるとより身近な問題点が見えてくるでしょう。

生涯学習コーナーも充実しています。実地臨床ですぐに役立つ情報が「プライマリ・ケアコーナー」で取り上げられ、専門医の立場から解説された「生涯教育」では最新の知見を学習できます。さらに嬉しいことに、日本医師会生涯教育制度とリンクしており単位取得が可能です。論文末尾の設問に6割（5問中3問）以上正解した方に0.5単位、1カリキュラムコードが付与されます。このような取り組みは全国でも沖縄県ぐらいいださそうです!! 広報委員会としては、1年間の集計のもと正解率の高い会員の

方々に図書カードを進呈しております。奮ってご応募下さい。また「講演会・例会のご案内」にも単位取得可能な講演会の情報が満載です。ご活用下さい。

県内医療界の動向を知るにはまず「インタビューコーナー」が注目です。福祉保健部長や病院事業局長、新任教授・病院長、各地区医師会長、なごみ会・話題豊富に生の声を発信しています。「月間（週間）行事お知らせ」今月号ではアレルギー週間が取り上げられていますが、単なる告知に終わることなく、日常診療に役立つ情報をおりませるよう工夫しています。「会務の動き」から今特に力が注がれている内容や医療界の潮流を読み取ることができ「地区医師会連絡協議会」ではより身近な問題が提起されています。地域社会との連携強化の企画として「マスコミとの懇談会」が定期的で開催され、臨場感あふれる記事で読み応えがあります。「感染症情報」ではインフルエンザなど18の感染症の定点報告数を毎週集計しています。患者さんの動向を把握する上でも有用と思われると思います。

会員参加のコーナーが多いのも自慢です。「随筆」「若手コーナー」「発言席」「ロゴマークは語る」「本の紹介コーナー」「趣味のグループ」…まだまだ書き足りないのですが、12月号には「総目次」がつきますので検索してみてください。「会報表紙写真」ですが、プロの写真家の選考を経て平成22年ベストフォトを決定しております。今月号に表彰記事が掲載されています。いい写真が取れましたら…これまた奮ってご応募下さい!

今年度は「脳卒中医療連携パス」に代表される地域連携の構築や「クリニカルシミュレーションセンター」の始動にあたり、会員同士の強固な連携が求められています。情報を発信するツールのひとつとして、会報の役割は益々大きくなるでしょう。会報巻末には毎月“はがき”を用意しております。みんなでいいものを作っていきましょう!!

広報委員 金城 正高